

[120]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1809194>

出版情報：語文研究. 120, 2015-12-25. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼平成二十七年 九州大学国語国文学会

於 九州大学箱崎キャンパス

中央図書館新館4F・視聴覚ホール

二〇一五年六月六日(土)

〔研究発表〕

書き言葉としての上代特殊仮名遣い

—イ列甲乙類をめぐって—

『在明の別』の左大臣についての一考察

中村三近子の「善念」観について

近世仏教と孝子伝—明学がもたらしたもの

甌島里方言の重複形式について

上代語における接頭辞「コ(子)」の存否について

李 潤 基

小 松 明日佳

脇 山 真 衣

勝 又 基

久保蘭 愛

田 籠 博

〔講 演〕

蕪村と蝶夢—日本近代詩歌の一流流

田 中 道 雄

▼第六十五回西日本国語国文学会

於 長崎大学教育学部三二番講義室

二〇一五年九月一日(土) ～二〇日(日)

〔シンポジウム〕

「長崎の地域的特性と文学」

高山倫明・若木太一・下野孝文・坂口 至

〔研究発表〕

明治期児童書における仮名のふるまい

巢 山 優 希

武富廉斎著『蠶母要覧』に関する一考察

中 山 成 一

並列表現「くくく」の消長に関する考察

—動作作用の並列表現の推移補遺—

京 健 治

水上文学における仏教言説について

—「悲母観音」の受容と表象から—

篠 田 菜 央

字音接辞「当」の形成と定着における歴史的研究

金 香 梅

佐賀市方言における動詞五段化

高 山 百 合 子

(九州大学関係者のみ)

▼受贈図書(二〇一五年四月～二〇一五年九月)

ふれあい文芸(平成二十七年版)

日本科学技術振興財団

能楽資料叢書1 大蔵虎清間・風流伝書(田口和夫校訂)

野上記念法政大学能楽研究所

能楽資料叢書2 金春安住集

『歌舞後考録』『御用留』(六麗

会校訂、小林健二編集)

野上記念法政大学能楽研究所

能楽資料叢書3 東北大学附属図書館蔵 秋田城介型付(秋

田城介型付研究会校訂) 野上記念法政大学能楽研究所

能楽研究叢書1 ZEAMI: SIX REVIVED BANGAI PLAYS (Translated

and introduced by ROYALL TYLER) 野上記念法政大学能楽研究所

能楽研究叢書2 ギリシア悲劇と能における「劇展開」—ア

リストテレーズを手引きに、そして彼を超えて—(M.J.

スメサースト著、渡辺浩司・木曾明子訳)

野上記念法政大学能楽研究所

能楽研究叢書3 EXPRESSIONS OF THE INVISIBLE (Edit

by MICHAEL WATSON and REIKO YAMANAKA)

野上記念法政大学能楽研究所

能楽研究叢書4 野上豊一郎の能楽研究(伊海孝充編集)

野上記念法政大学能楽研究所

神道資料叢刊十四 小津久足紀行集(二)(高倉一紀・菱岡憲

司・龍泉寺由佳編) 菱岡憲司

仮名草子集成 第四十九卷(深沢秋男・伊藤慎吾・入口敦志・

中島次郎・柳沢昌紀編) 入口敦志

上代文学研究史の研究(河野頼人著) 川平敏文

万葉研究史の周辺(河野頼人著) 川平敏文

日韓の書誌学と古典籍(大高洋司・陳捷編) 入口敦志

天理ギャラリー—第一五五回展 手紙—筆先にこめた想い—

天理図書館

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書 国文学研究資料館

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録 国文学研究資料館

建昌哲 poetry/art 前橋文学館

新島襄生誕170年記念 襄と八重の上州—新島襄がこの地に播

いた種— 群馬県立土屋文明記念文学館

第81回企画展 あすなると崔華國—名曲茶房—

群馬県立土屋文明記念文学館

第82回企画展 芥川龍之介の生涯—あまりに人間的な—

群馬県立土屋文明記念文学館

第83回企画展 土屋文明とその門下の歌人たち—『自生地』

と『ケノクニ』— 群馬県立土屋文明記念文学館

第84回企画展 文豪田山花袋—近代の小説を模索した日々—

群馬県立土屋文明記念文学館

第85回企画展 私の宝物—野間清治と少年少女雑誌の世界—

群馬県立土屋文明記念文学館

第86回企画展 生誕130年記念展 山村暮鳥—そして『雲』が

生まれた— 群馬県立土屋文明記念文学館

第87回企画展 近代を駆け抜けた作家たち—文豪たちの文字

は語る— 群馬県立土屋文明記念文学館

▼平成二十八年 九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

平成二十八年 九州大学国語国文学会を、平成二十八(二〇一六)年六月四日(土)、九州大学附属中央図書館新館・視聴覚ホールにて開催いたします。多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

研究発表をご希望の方は、発表題目を平成二十八年三月三十一日までに九州大学国語国文学会までお申し出下さい。

研究発表題目などの詳細につきましては、平成二十八年四月下旬にあらためてお知らせいたします。

〔お詫びと訂正〕

『語文研究』119号(平成二十七年六月六日発行)の「会員著書紹介」および「受贈図書」におきまして、原武 哲様の御氏名を「原 武哲」と誤記しておりました。原武様ならびに関係者各位に御迷惑を御掛けしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、ここに謹んで訂正させていただきます。

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に寄稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額 維持会員四千元(各号二部配布)、通常会員二千元(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。

〒八二一八五八一 福岡市東区箱崎六一一九一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax: 〇九二一六四二一三九五)

ホームページアドレス

<http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/japano/>

(研究室のアドレスも記していますので、学会関係・住所変更等の各種連絡にも御利用下さい。)